

第1回 北海道代協 組織委員会 議事録

日 時:平成 29 年 5 月 12 日(金)15:00~17:00

会 場:ホテルモントレエーデルホフ札幌 12 階「メンデル」

出席者:細川委員長(札幌)・松田副委員長(苫小牧)・永井(室蘭)

小林(小樽)・岩間(函館)・益子(釧路)・佐々木会長

欠席者:海野(旭川)・玉山(千歳)・押切(帯広)

1. 出席者・資料の確認
2. 委員長挨拶
3. 議事録作成者指名:益子(釧路)

報告事項(細川委員長)

1. 日本代協組織委員会報告

4 月 14 日(金)日本代協事務局にて全 16 ブロックの委員長出席のもと日本代協組織委員会が開催された。

木下委員長の挨拶があった。「全国の皆様、ご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。組織委員の方々を中心に、平成 29 年度は組織力を向上させ、更に取り組みを強化させます。個人プレイから脱却し、チームプレイができる体制を作っていきましょう。そしてチームで結果を出せるように、活動していきましょう。会員増強は各代協の財政基盤の源であり、活動の充実に向けた基礎ともいえます。その為の事業ともいえます。皆様からの意見も出してもらい、更に活発な運営をしていきましょう」というお話でした。

委員長挨拶の後、小出副会長の挨拶もあり、基準としている増店 300 店、目標ガイドライン基準計、自主目標のいずれの基準値には届きませんでした。1 年間で 168 店の増強ができました。5 年間連続で正会員が増加したことを価値あるものだとの挨拶があったそうです。

今年度も新会員のフォロー、グリップをしっかりとしながら北海道代協もチームプレイで会員増強に努めましょう。

京都代協の組織率が 60%を超えている。集客力のあるセミナー等でいかに脱退会員をとどまらせるかが課題。

福岡代協が北海道代協をライバル視しているようなので、今年度も負けずに頑張りましょう。

2. 入会・退会報告

9 支部中目標達成出来た支部は、室蘭・旭川・苫小牧の 3 支部にとどまった。9 支部で 656 店に対し 636 店であったが、新入会 38 店、脱会 28 店と 10 店の会員増となりました。

引き続き今年度も、専属代理店にこだわらずモーター代理店や等にも積極的にアプローチしていきましょう。

自主目標:660 店 組織率:50%

各支部 30 年 3 月末目標

札幌	室蘭	旭川	小樽	苫小牧	千歳	函館	釧路	帯広
209	23	114	17	34	19	92	100	52

日本代協目標:660店

3. 国民年金基金の取り組み

国民年金基金は現在年利1.5%で運用され、所得税控除対象でもあり本年度も推進強化していきたい。

小規模整備工場を中心に開拓している代協もあるので、会員増強と併せて取り組んでいく。

4. その他

* 北海道代協の会費値上げに関する議案が上がっている件について。付き合いで加入している会員もいる中で、退会の引き金になるのではないかと意見も出ていました。まだまだプロ代理店が主の会のような感じがあるので、モーター代理店等ももっと代協の仲間にするべきである。

* 支部ごとに総代理店数の把握ができれば、支部の組織率もわかってくるが、現状確認は困難であるようだ。

* 入会していない代理店が、入会したいと思える組織にしていかなければいけない。労働者に組合があるように、代協もその役割を担うような会であれば良いのだが……

* 佐々木会長より、先日、参議院財政金融委員会にて共産党の大門議員が、2003年より始まった保険代理店の手数料自由化によって、地域密着型の中小代理店に起こっている手数料ダウンの現状に対する答弁の模様をユーチューブにて閲覧できるとのお話がありました。

やはり現状の組織率では力不足ですので、50%超えを第一の目標にして、力のある組織にしていかなければというお話がありました。

以上

<次回 組織委員会> 平成29年8月18日(金)